

# *ES/1 NEO*

CSシリーズ

管理コンソール

使用者の手引き

第13版 2022年8月

---

©著作権所有者 株式会社 アイ・アイ・エム 2022年

**© COPYRIGHT IIM CORPORATION, 2022**

**ALL RIGHT RESERVED. NO PART OF THIS PUBLICATION MAY  
REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM BY ANY MEANS,  
ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY RECORDING,  
OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM WITHOUT  
PERMISSION IN WRITING FROM THE PUBLISHER.**

**“RESTRICTED MATERIAL OF IIM “LICENSED MATERIALS – PROPERTY OF IIM**

# 目次

第 1 章 機能概要 .....	1
1.1. 特徴と使用の効果 .....	1
1.2. 機能概要 .....	2
1.3. 管理コンソールで扱う用語 .....	4
1.3.1. ジョブとジョブステップ .....	4
1.3.2. タイマー .....	4
1.3.3. スケジュール .....	4
1.4. 管理コンソールと他の ES/1 製品との棲み分け .....	5
第 2 章 動作環境設定 .....	6
2.1. システム要件 .....	6
2.2. 管理コンソールの構成 .....	6
2.3. アカウントの設定 .....	7
2.4. 管理コンソールの設定 .....	9
2.5. Windows ファイアーウォールの設定 .....	12
2.6. 管理コンソールへのアクセス .....	13
2.7. サービスの制御 .....	14
2.7.1. 管理コンソールの停止 .....	14
2.7.2. 管理コンソールの開始 .....	14
2.7.3. サービスを自動的に開始しない .....	14
2.7.4. サービスを自動的に開始する .....	14
2.8. データベースの保守 .....	15
2.8.1. データベースファイルの移動 .....	15
2.8.2. データベースの復元 .....	16
第 3 章 管理コンソールの使用 .....	17
3.1. ログイン .....	17
3.2. ヘッダー .....	18
3.3. 実行キュー .....	19
3.3.1. ジョブ投入 .....	20
3.4. 実行履歴 .....	21
3.4.1. ジョブステップログ .....	22
3.5. スケジュール一覧 .....	23
3.5.1. スケジュール追加 .....	24
3.5.2. スケジュール編集 .....	25
3.6. タイマー一覧 .....	26

3.6.1. タイマー追加 .....	27
3.6.2. タイマー編集 .....	28
3.7. ジョブ .....	29
3.7.1. ジョブ追加 .....	30
3.7.2. ジョブのコピー .....	31
3.7.3. ジョブ編集 .....	32
3.7.4. Athene7 データ変換(pdbmagic)のパラメータ指定 .....	33
3.7.5. Athene データ変換(pdbmagic2)のパラメータ指定 .....	34
3.7.6. ファイル転送(iimclct)のパラメータ指定 .....	35
3.7.7. sftp 転送(iimsft)のパラメータ指定 .....	36
3.7.8. パケットモニタデータ変換(wmonpost)のパラメータ指定 .....	37
3.7.9. ユーザデータ変換(CS-CONNECT)のパラメータ指定 .....	38
3.7.10. グラフ作成(CS-MAGIC)のパラメータ指定 .....	39
3.7.11. 報告書作成(CS-REPORT)のパラメータ指定 .....	40
3.7.12. 評価(CS-ADVISOR)のパラメータ指定 .....	41
3.7.13. ネットワーク評価(CS-Network ADVISOR)のパラメータ指定 .....	42
3.7.14. 出力ファイル群の管理(CS)のパラメータ指定 .....	43
3.7.15. データ検査 - 状態チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定 .....	44
3.7.16. データ検査 - 限界値チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定 .....	45
3.7.17. データ集約 - 日毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定 .....	46
3.7.18. データ集約 - 月毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定 .....	47
3.7.19. データ管理 - バックアップ(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定 .....	48
3.7.20. 傾向分析対象データベースへのアップロード(CS-TREND)のパラメータ指定 : 本機能は V05L20R2 にて廃止しました。 .....	49
3.7.21. パターン分析(CS-TREND)のパラメータ指定 : 本機能は V05L20R2 にて廃止しました。 .....	50
3.7.22. Performance Web Service バックアップ(Performance Web Service Maintenance)の パラメータ指定 .....	51
3.7.23. Performance Web Service データ削除(Performance Web Service Maintenance)の パラメータ指定 .....	52
3.7.24. その他のプログラムの実行指定 .....	53
3.8. ダウンロード .....	54
3.8.1. 設定ファイル .....	55
3.8.2. ログファイル .....	56
3.8.3. イベントログ .....	57
3.8.4. フラットファイル .....	58
3.8.5. その他のファイル .....	59
3.9. システム状況 .....	60
3.10. 操作ログ一覧 .....	61
3.10.1. 操作ログ詳細 .....	62
3.11. 管理コンソール設定 .....	63
3.11.1. 操作ログ .....	64
3.11.2. イベントログ .....	65

3.11.3.ジョブ実行 .....	66
3.11.4.ジョブ実行 編集 .....	67
3.12. アカウント管理 .....	68
3.12.1.アカウント追加 .....	69
3.12.2.アカウント編集 .....	70
3.13. 設定ファイルの出力 .....	71
3.14. 設定ファイルの取込 .....	72
3.14.1.確認メッセージ .....	73

## 第 4 章 管理コンソール運用例 ..... 74

4.1. 運用の方針 .....	74
4.2. フラットファイル作成の設定 .....	75
4.3. 日次バッチ処理の設定 .....	77
4.4. 月次バッチ処理の設定 .....	79
4.5. 問題発生時のグラフ作成の設定 .....	81
4.6. 問題発生時のグラフ作成の実行 .....	82
4.7. 注意事項 .....	84

# 第1章 機能概要

本書は ES/1 NEO CS シリーズ 管理コンソールについて記述しています。

## 1.1. 特徴と使用の効果

ES/1 NEO CS シリーズ 管理コンソール（以降、単に管理コンソールと記述）は、パフォーマンス管理者が ES/1 NEO CS シリーズ（以降、単に CS シリーズと記述）を運用管理するための管理ツールです。

CS シリーズ初期導入時には、対象サーバ選択や出力するアウトプット種別の指定などの初期設定が必要となります。いったん初期設定が完了した以降は、設定を元に CS シリーズを実行し日常的な性能管理を行う運用に入ります。

管理コンソールは、パフォーマンス管理者が運用段階にはいった CS シリーズの日常的な運用管理を行うため以下の特徴をもったプロダクトとして設計されています。

(1) Web インターフェースによるリモートからの操作が行えます。

http/https によるリモートからの CS シリーズの操作が行えます。

CS シリーズ稼働環境にファイアウォールがあり、http や https のみの接続しか行えない環境では管理コンソールを通じて CS シリーズの運用が行えます。

(2) スケジュール機能によって CS シリーズの自動運用が行えます。

CS シリーズの各プロダクトの実行を、ジョブと呼ばれる単位で実行制御できます。スケジュール機能よりジョブを実行することで CS シリーズの運用を自動化できます。

(3) 管理マシンの稼働状況をリモートから確認できます。

CS シリーズが稼働する端末の状態をリモートから確認できます。

(4) 認証機能によりセキュリティを設定できます。

管理コンソールを使用するユーザを制限することができます。

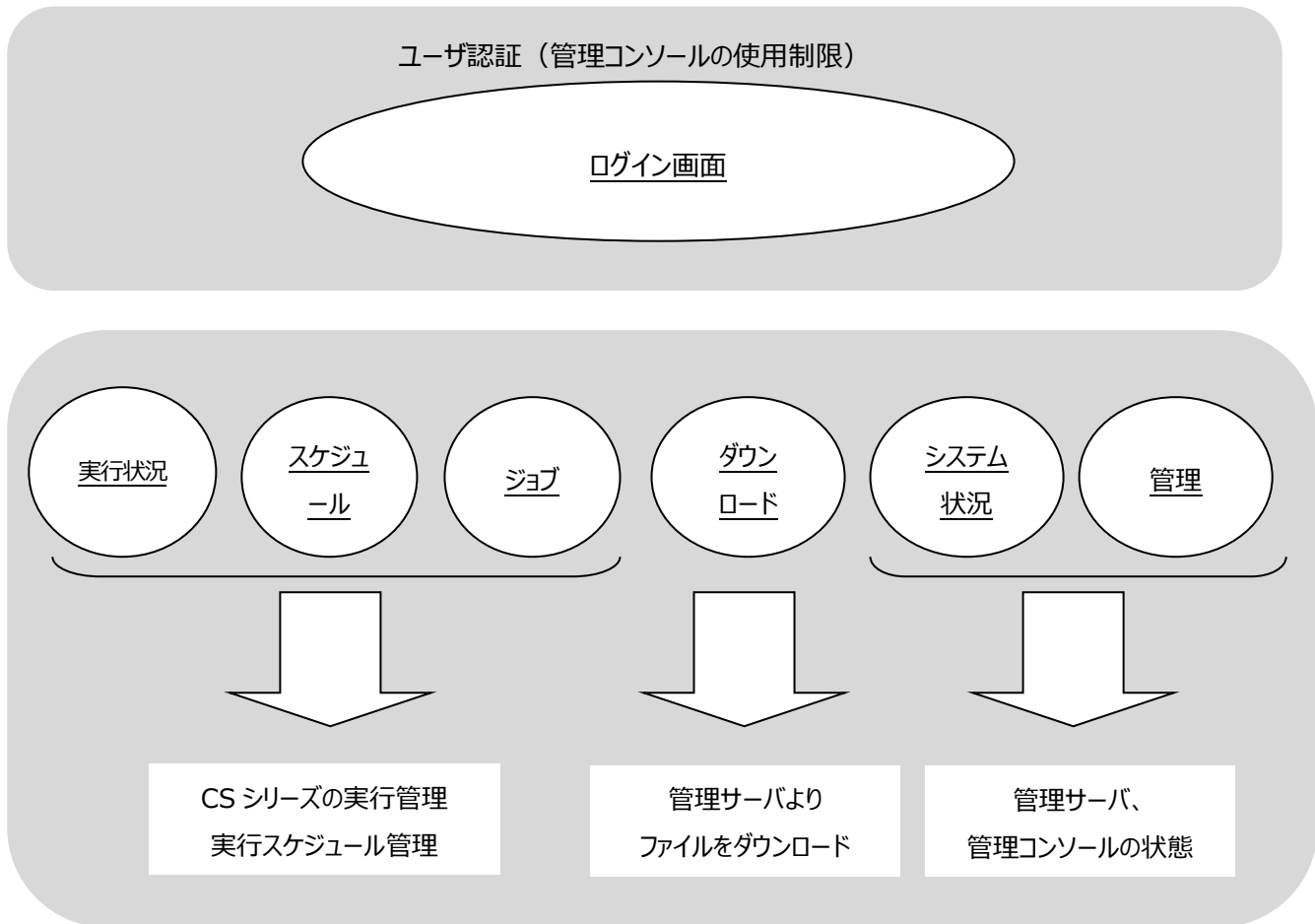
全体の機能構成を次の図で表します。

### メモ！

管理コンソールは CS シリーズの運用管理に特化しており、設定変更を行う機能は持っていません。設定の変更を伴う CS シリーズの管理操作は、CS シリーズの各プロダクトを用いて行ってください。

## 1.2. 機能概要

管理コンソールは以下の機能をもっています。



### (1) Web インターフェース

管理コンソールは http または https を通じた Web インターフェースによって CS シリーズの運用管理が行えるようにします。利用環境によっては、CS シリーズを導入する管理マシンが手元の端末になく、ネットワークを通じた操作が必要なケースがあります。通信経路にファイアーウォールが介在し、http や https のみの接続しか行えない環境では、管理コンソールを通じて CS シリーズの日常運用が行えるようになります。

### (2) ユーザ認証

管理コンソールを使用するには、ユーザ名およびパスワードにて認証を行う必要があります。管理コンソールでは CS シリーズに対する各種の設定が行えるため、認証機能によるセキュリティをかけられるようになっています。

### (3) 実行状況

CS シリーズのプロダクトの実行状況を確認できます。現在実行中のジョブ（後述）の状況や、ジョブの実行結果が確認できます。もしもプログラムに何かの異常が発生し運用に問題が発生している場合、該当するジョブやジョブステップの状態をリモートから把握できます。プログラムの異常内容を示すログの状態と合わせて確認が可能です。

#### (4)ジョブ

CS シリーズの日常的な運用は、いくつかの CS シリーズのプロダクトをバッチ的に実行することで成り立っています。管理コンソールは、一連の CS シリーズのプロダクトの実行をジョブという単位で扱い、実行制御できるようにします。各プロダクト内にはいくつかのプログラムが実行されますが、これらはジョブステップという単位として扱われます。システム管理者は、ジョブおよびジョブステップにて、CS シリーズの日常の運用を管理します。

#### (5)ダウンロード

CS シリーズ運用上で必要となるファイル群をダウンロードできる機能を提供します。

取り扱い可能なファイルは以下の通りです。

- CS シリーズプロダクトの設定ファイル、ログファイル
- Windows イベントログファイル
- CS シリーズのフラットファイル
- 任意のファイル

#### (6)システム状況

管理コンソールが導入された CS シリーズが稼働する管理マシンの稼働状況を確認できる機能を提供します。

長期間の連続運用によるディスク領域の不足や、CS シリーズの提供する様々なリモート収集エージェントの Windows サービスの状態および停止開始操作をリモートから行えるようにします。

#### (7)管理

管理コンソールのログの保持期間設定など各種の管理コンソール自体の設定を行います。



### 1.3. 管理コンソールで扱う用語

管理コンソールで扱う用語について解説します。

#### 1.3.1. ジョブとジョブステップ

CS シリーズは様々なプログラム群から成り立っています。これらのプログラム群をまとめて実行し、日常運用が行われます。管理コンソールではこれらのプログラム群を、ジョブという単位で扱います。個々のプログラムはジョブステップと呼ばれます。1 つのジョブには 1 つまたは複数のジョブステップを登録することができます。ジョブを実行すると、ジョブに登録されているジョブステップが順に実行されます。

また、同一の管理サーバ内ではジョブの実行は排他的に行われます。仮に複数のジョブの実行タイミングが競合した場合には、後発のジョブが先行するジョブが終了するのを待ってから実行されます。

#### 1.3.2. タイマー

CS シリーズの日常的な運用の中では、毎日や毎時間、指定時刻にプログラムを定期的に行うことが多くあります。これらに定期的な実行タイミングの指定を、管理コンソールではタイマーと呼ばれる設定にて管理します。

#### 1.3.3. スケジュール

実行するプログラム群を指定したジョブと、繰り返し実行の設定がされたタイマーを組み合わせ、スケジュールと呼ばれる実行設定を登録します。

#### 1.4. 管理コンソールと他の ES/1 製品との棲み分け

管理コンソールは運用フェーズに入った後の CS シリーズの運用管理に特化して設計されています。ここでは、一般的な CS シリーズの導入から運用の流れの中で、管理コンソールと他の ES/1 製品との棲み分けについて説明します。

フェーズ	項目	実施項目の例	管理コンソール	各 ES/1 製品
構築	導入	CS シリーズ製品の導入		○
	初期設定	統計データの収集設定		○
		統計データの変換設定		○
		アウトプット（グラフ、評価結果等）の出力設定		○
	運用設定	CS シリーズの各種プログラムの実行スケジュール設定	○	
運用	運用管理	日々の CS シリーズの運用管理	○	
		CS シリーズの実行ログ確認	○	○※1
		CS シリーズの各種プログラムの実行スケジュール変更	○	
	軽微なリカバリ	（既存の設定による）稼働グラフの再作成	○	
		（既存の設定による）評価結果の再作成	○	
	設定追加 設定変更	統計データ取得対象サーバの追加、変更		○
		アウトプット（グラフ、評価結果等）の出力設定		○

※1・・・ES/1 NEO Log Utility を使用します。

## 第2章 動作環境設定

以下の文中、プログラム導入のベースフォルダ以下の mgmtconsole フォルダを“管理コンソールフォルダ”と記述します。例えば、インストール時のプログラム導入フォルダに C:¥IIM を指定した場合、管理コンソールフォルダは C:¥IIM¥mgmtconsole を示します。

### 2.1. システム要件

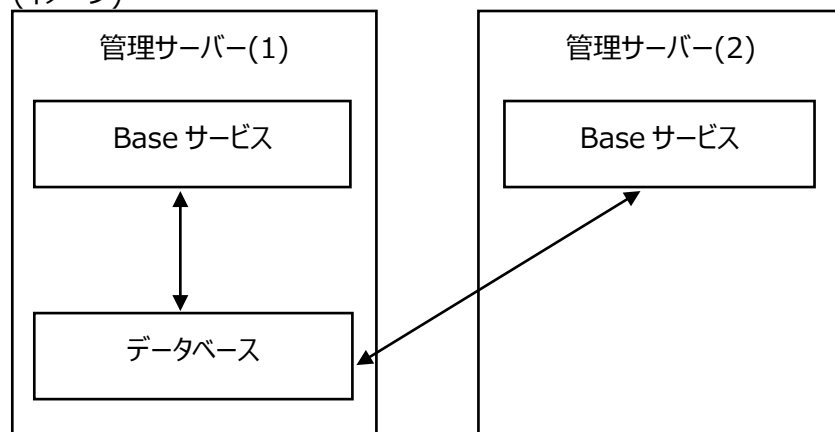
管理コンソールを使用するには以下の条件を満たしている必要があります。

- (1)CS シリーズを導入したアカウントが「サービスとしてログオン」の権限を持つこと。
- (2)管理コンソールが使用する TCP ポートへの接続を（ファイアウォールでブロックせずに）受け付け可能なこと。
- (3)以下のブラウザが使用可能なこと。
  - ①Microsoft Edge
  - ②Google Chrome

### 2.2. 管理コンソールの構成

管理コンソールは「Base サービス」という Windows サービスと情報を記録するためのデータベースにより構成されます。複数の管理サーバが CS フラットファイル格納フォルダを共有している場合は、それらを管理コンソールでまとめて管理することが出来ます。この場合は、ある 1 つの管理サーバのみでデータベースが動作し、残りの管理サーバ上の Base サービスがそのデータベースに接続する形で構成します。

(イメージ)



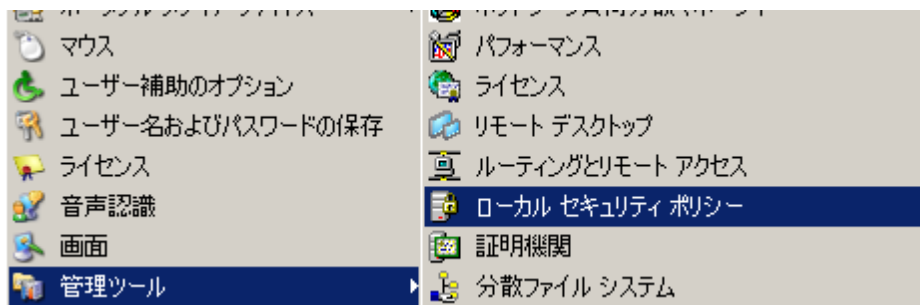
このような構成にした場合、ある 1 つの Base サービスにアクセスすることでデータベースを共有している複数の管理サーバを管理することが出来ます。

## 2.3. アカウントの設定

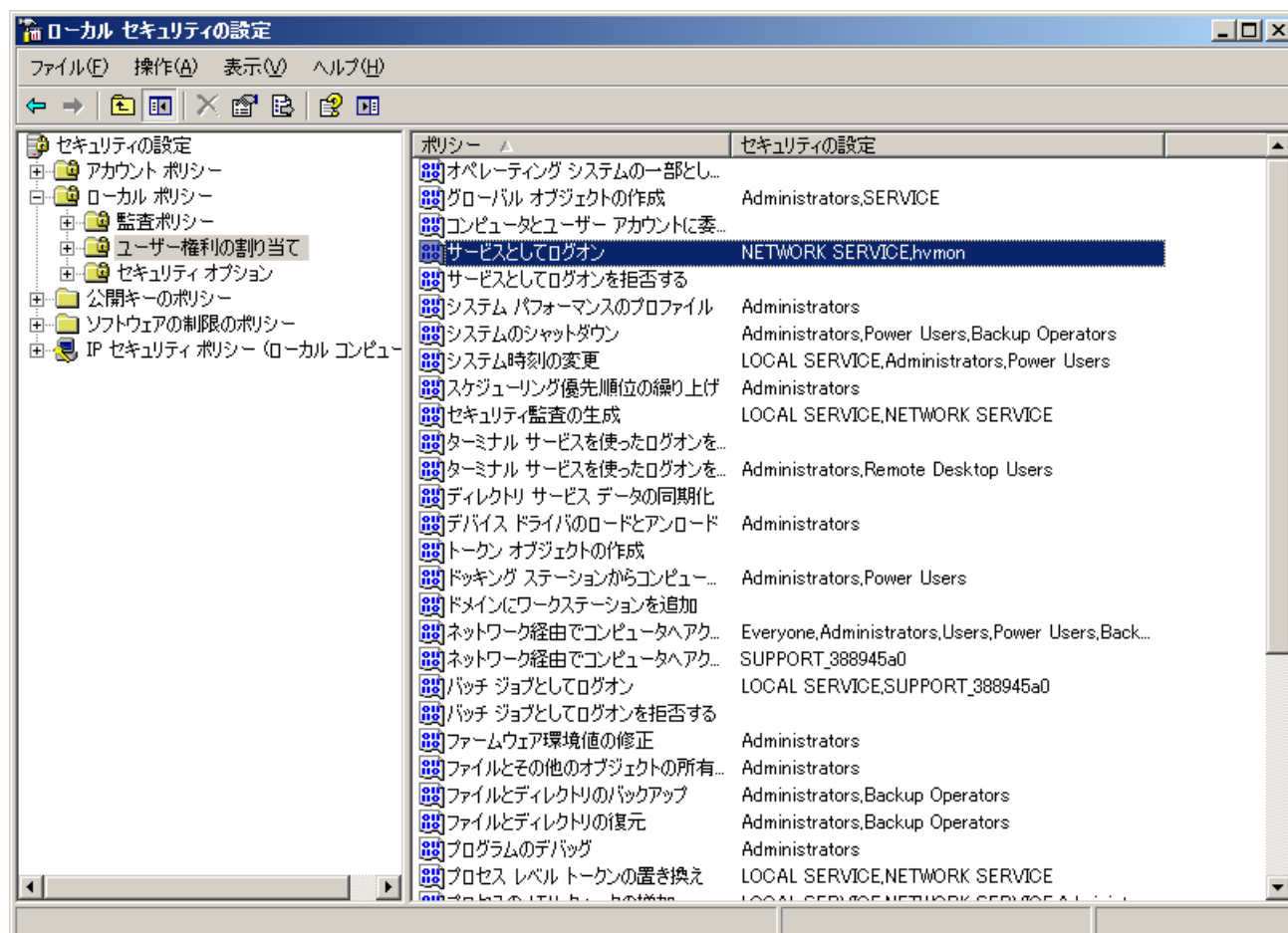
管理コンソールはWindowsサービスとして動作します。管理コンソールを実行するにはCSシリーズを導入したアカウントが「サービスとしてログオン」の権限を持っている必要があります。

「サービスとしてログオン」の権限は以下の手順で付与できます。

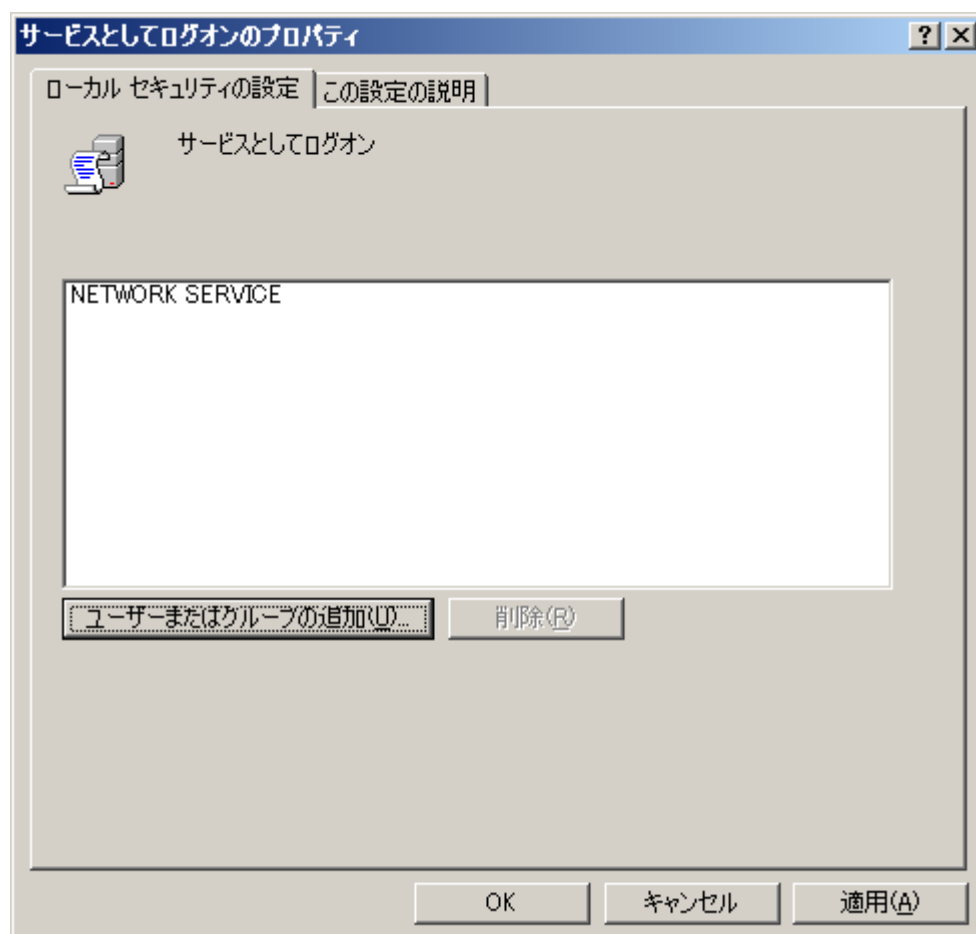
スタートメニューより、「管理ツール」→「ローカルセキュリティポリシー」を開きます。



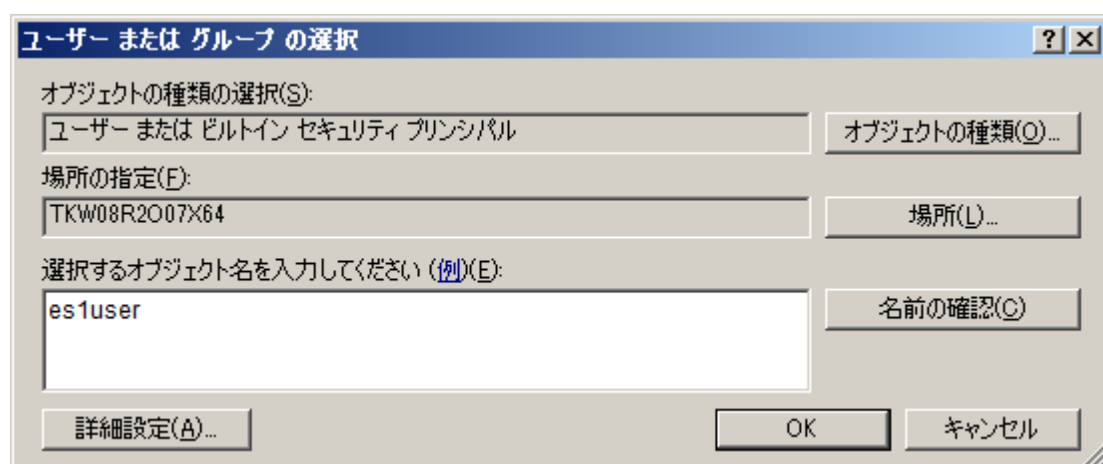
「ローカルポリシー」より「ユーザ権利の割り当て」を開き、「サービスとしてログオン」を開きます。



「ユーザまたはグループの追加」を開きます。



「選択するオブジェクト名を入力してください」に CS シリーズを導入したアカウントを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



## 2.4. 管理コンソールの設定

管理コンソールを実行するには幾つかの項目を設定する必要があります。初回インストール時は管理コンソールは実行されておらず、OS の起動時に自動的に開始される設定にはなっていません。以下に示す手順で設定を行った後、サービスは実行状態になり、OS の(再)起動時に自動的に実行される設定になります。

また、複数の管理サーバを構成する場合はデータベースを動作させるサーバの設定を最初に行い、残りのサーバの設定を順に行います。

設定を行なうには、[スタート]メニュー → 「プログラム」 → 「ES1 NEO CS シリーズ」から「管理コンソール設定」を選択します。選択後に管理コンソール設定画面が起動します。

管理コンソール設定画面には「基本設定」、「ネットワークドライブ」、「HTTPS」の3つのタブがあります。「基本設定」タブのすべての入力フィールドは必須です。

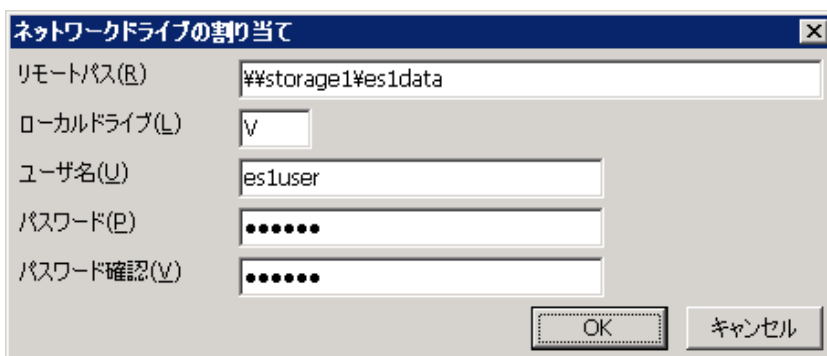
項目	説明
管理サーバ名(N)	管理サーバを識別するための文字列を指定します。 日本語の入力も可能です。
Web サービスポート番号(W)	Web ブラウザからのアクセスを受け付けるポート番号を指定します。
制御用ポート番号(S)	管理コンソールが内部で使用するポート番号を指定します。このポート番号は明示的に使用することはありませんが、サービスを動作させるために必要です。
Base サービスポート番号(B)	
DB ホスト(X)	データベースを動かす管理サーバの IP アドレスを指定します。 ローカルでデータベースが動作する場合は'localhost'を指定します。
DB ポート番号(D)	データベースが使用するポート番号を指定します。
DB バックアップ時刻(T)	データベースのバックアップを行う時刻を指定します。バックアップにはここで指定した時刻時点のイメージが記録されます。
管理サーバ IP アドレス(A)	この管理サーバの IP アドレスを指定します。IP アドレスを変更した場合は再度設定を行ってください。
サービスアカウント名(U)	CS シリーズを導入したアカウントのユーザー名を指定します。
パスワード(P)	CS シリーズを導入したアカウントのパスワードを指定します。
パスワード確認(V)	パスワードの確認入力です。

「ネットワークドライブ」タブでは CS シリーズで使用するネットワークドライブの指定を行います。  
ここでは設定を行っている管理サーバ上で動作する CS シリーズのプログラムが使用するネットワークドライブを指定します。



項目	説明
リモートパス/ローカルドライブ/ユーザ	指定内容の一覧が表示されます。
[追加]	ネットワークドライブの指定を追加します。
[編集]	一覧で選択した指定を編集します。
[削除]	一覧で選択した指定を削除します。

[追加]または[編集]をクリックすると以下のようなダイアログが表示されます。



項目	説明
リモートパス(R)	参照するフォルダを UNC 形式で指定します。
ローカルドライブ(L)	リモートパスを割り当てるローカルドライブ文字を指定します。
ユーザ名(U)	接続に使用するユーザ名を指定します。
パスワード(P)	接続に使用するパスワードを指定します。
パスワード確認(V)	パスワードの確認入力です。
[OK]	入力内容を反映させ元の画面に戻ります。
[キャンセル]	入力内容を破棄し元の画面に戻ります。

[HTTPS]タブでは管理コンソールで HTTPS を使用する場合に必要な情報を指定します。

The screenshot shows the 'ES/1 NEO CS 管理コンソール設定' (ES/1 NEO CS Management Console Settings) window with the 'HTTPS' tab selected. The '基本設定' (Basic Settings) section is active. The 'HTTPSを使用する(L)' (Use HTTPS) checkbox is checked. Below it are four fields: '証明書ファイル(C)' (Certificate File) with the value 'c:\files\ssl\server.crt', '鍵ファイル(K)' (Key File) with the value 'c:\files\ssl\server.key', 'パスワード(P)' (Password) which is empty, and '中間証明書ファイル(I)' (Intermediate Certificate File) which is empty. Each file field has a browse button (...). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	説明
HTTPS を使用する(L)	HTTPS を使用する場合はここをチェックします。
証明書ファイル(C)	証明書ファイルを指定します。(*)
鍵ファイル(K)	秘密鍵ファイルを指定します。(*)
パスワード(P)	秘密鍵ファイルにパスワードが設定されている場合はそのパスワードを指定します。
中間証明書ファイル(I)	中間証明書ファイルを使用する場合に指定します。(*)

(\*)証明書、鍵、中間証明書ファイルは PEM 形式のファイルのみ使用可能です。

すべてのタブに必要な項目を入力した後に画面下部の[OK]をクリックしてください。設定を保存し、設定内容を反映するためにサービスの(再)起動が行われます。



## 2.5. Windows ファイアーウォールの設定

管理コンソールの設定を行った後、外部からの接続を受け付けるために Windows ファイアーウォールの設定を行う必要があります。

管理コンソール設定画面の「基本設定」タブで指定した「Web サービスポート番号」への接続を受け付けるように設定してください。

また、データベースを動作させる管理サーバについては、管理コンソール設定画面の「基本設定」タブで指定した「DB ポート番号」への接続も受け付けるように設定してください。

## 2.6. 管理コンソールへのアクセス

管理コンソールへのアクセスは以下の URL

`http(s)://<アドレス>:<ポート番号>/webfront/signin/`

をブラウザでアクセスすることにより行えます。<アドレス>には管理コンソール設定画面の「基本設定」タブで指定した「管理サーバ IP アドレス」、<ポート番号>には「Web サービスポート番号」をそれぞれ指定します。

サポートされているブラウザは Microsoft Edge、Google Chrome です。

インストール後に作成される管理コンソールへのショートカット([スタート]メニュー → 「プログラム」 → 「ES1 NEO CS シリーズ」 → 「管理コンソールトップページ」)は HTTP によるデフォルトのポート番号へのアクセスとなる以下の URL を参照しています。

`http://localhost:9200/webfront/signin/`

管理コンソール設定画面の「基本設定」タブの「Web サービスポート番号」で 9200 以外を選択した場合、また、「HTTPS」タブで「HTTPSを使用する」とした場合は上記の URL ではアクセス出来ませんので、設定内容に沿った URL にアクセスしてください。

## 2.7. サービスの制御

### 2.7.1. 管理コンソールの停止

管理コンソールの実行を停止するにはコマンドプロンプトで  
管理コンソールフォルダ¥basesv¥mgmtconsvc.exe -stop  
を実行します。

### 2.7.2. 管理コンソールの開始

停止状態の管理コンソールの実行を開始するにはコマンドプロンプトで  
管理コンソールフォルダ¥basesv¥mgmtconsvc.exe -start  
を実行します。

### 2.7.3. サービスを自動的に開始しない

OS の(再)起動時に管理コンソールが自動的に開始されないようにするにはコマンドプロンプトで  
管理コンソールフォルダ¥basesv¥mgmtconsvc.exe -manual  
を実行します。

### 2.7.4. サービスを自動的に開始する

OS の(再)起動時に管理コンソールが自動的に開始されるようにするにはコマンドプロンプトで  
管理コンソールフォルダ¥basesv¥mgmtconsvc.exe -auto  
を実行します。

## 2.8. データベースの保守

管理コンソールのデータベースは情報の記録用として 1 つのファイルを使用します。このファイルは、管理コンソールフォルダ¥db¥mgmtconsole.fdb に作成されています。

管理コンソールフォルダのドライブの容量が少ない場合は、このファイルを別のドライブ上のフォルダに移動することが出来ます。ただし、移動先はローカルディスク、かつ、フォルダは 2 バイト文字を含まない名前である必要があります。

### 2.8.1. データベースファイルの移動

mgmtconsole.fdb の移動は以下の手順で行ってください。

- (1)管理コンソールを停止状態にします。上記 2.4.の管理コンソールの設定を行い、管理コンソールが実行されている場合は、上記 2.7.中のコマンド(mgmtconsvc.exe -stop)を実行します。
- (2)ファイル mgmtconsole.fdb を移動します。
- (3)管理コンソールフォルダ¥fb¥aliases.conf の内容を変更します。このファイルの内容は

```
mgmtconsole_db=mgmtconsole.fdb のパス
```

という形式をしています。例えば管理コンソールフォルダが C:¥IIM¥mgmtconsole の場合のインストール直後の状態は、

```
mgmtconsole_db=C:¥IIM¥mgmtconsole¥db¥mgmtconsole.fdb
```

となっています。mgmtconsole.fdb の移動先にあわせて編集し保存してください。例えば mgmtconsole.fdb を D:¥data¥es1 というフォルダに移動した場合は以下のように編集します。

```
mgmtconsole_db=D:¥data¥es1¥mgmtconsole.fdb
```

- (4)管理コンソールを実行します。上記 2.4.の管理コンソールの設定が完了している場合は、上記 2.7.中のコマンド(mgmtconsvc.exe -start)を実行します。設定が完了していない場合は上記 2.4.の管理コンソールの設定を行います。

#### 注意！

データベースファイルを移動するときは管理コンソールを停止する必要があります。管理コンソールが停止している間はジョブのスケジューリングが行われなため、移動はジョブのスケジュールが予定されていない時間帯に行ってください。

### 2.8.2. データベースの復元

管理コンソールは、上記 2.4.の管理コンソールの設定の「DB バックアップ時刻」に指定した時間に、データベースファイルのバックアップを自動的に行います。バックアップファイルは、管理コンソールフォルダ¥db¥mgmtconsole.fbk に作成されます。データベースの復元にはこのバックアップファイルを使用します。

- (1) 管理コンソールを停止状態にします。管理コンソールが実行されている場合は、上記 2.7. 中のコマンド (mgmtconsvc.exe -stop)を実行します。
- (2)「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」から「Firebird Guardian - iimmgmtdb」を選択し、サービスを開始します。
- (3)バックアップファイルを使用してデータベースの復元を行います。コマンドプロンプトから、管理コンソールフォルダ¥basesv¥dbutil.exe -rを実行します。
- (4)実行結果を確認します。dbutil.exe の実行ログは管理コンソールフォルダ¥basesv¥log¥dbutil.log に出力されます。
- (5)管理コンソールを実行します。上記 2.7.中のコマンド(mgmtconsvc.exe -start)を実行し、管理コンソールにアクセスできることを確認します。

**注意！**

データベースファイルを復元するときは管理コンソールを停止する必要があります。管理コンソールが停止している間はジョブのスケジューリングが行われないため、復元はジョブのスケジュールが予定されていない時間帯に行ってください。

## 第3章 管理コンソールの使用

### 3.1. ログイン

「ログイン」画面では管理コンソールへの認証を行います。セットアップ直後は、ユーザ ID に「Administrator」、パスワードに「es1admin」と入力し、ログインしてください。



項目	説明
ユーザ ID	ユーザ名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

アクション	説明
[ログイン]	管理コンソールにログインします。

### 3.2. ヘッダー

全画面共通で表示されるヘッダーです。このヘッダーを利用することで、どの画面からでも、目的の画面に遷移することが可能です。



アクション	説明
マニュアル	使用方法を記載した PDF ファイルを別ウィンドウに表示します。
ログアウト	<p>押下するとポップアップメッセージが表示されます。</p> <p>[OK]ボタンを押下するとログアウトします。</p> <p>[キャンセル]ボタンを押下すると元の画面に戻ります。</p>
実行状況	<p>実行キュー</p> <p>実行予定、実行中のジョブの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.3. 実行キュー</p> <p>実行履歴</p> <p>実行済みのジョブの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.4. 実行履歴</p>
スケジュール	<p>スケジュール一覧</p> <p>登録済みのスケジュールの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.5. スケジュール一覧</p> <p>タイマー一覧</p> <p>登録済みのタイマーの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.6. タイマー一覧</p>
ジョブ	<p>登録済みのジョブの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.7. ジョブ</p>
ダウンロード	<p>ファイルのダウンロードを行います。</p> <p>→ 3.8. ダウンロード</p>
システム状況	<p>管理サーバのシステム状況を表示します。</p> <p>→ 3.9. システム状況</p>
管理	<p>操作ログ一覧</p> <p>操作ログの一覧を表示します</p> <p>→ 3.10. 操作ログ一覧</p> <p>管理コンソール設定</p> <p>管理コンソールの設定を行います。</p> <p>→ 3.11. 管理コンソール設定</p> <p>アカウント管理</p> <p>登録済みのアカウントの一覧を表示します。</p> <p>→ 3.12. アカウント管理</p> <p>設定ファイルの出力</p> <p>管理コンソールの設定・ログ情報を出力します。</p> <p>→ 3.13. 設定ファイルの出力</p> <p>設定ファイルの取込</p> <p>管理コンソールの設定情報を取り込みます。</p> <p>→ 3.14. 設定ファイルの取込</p>

### 3.3. 実行キュー

実行キューは管理サーバ上で実行予定、あるいは実行中のジョブの一覧です。実行キューに投入されたジョブは先に入れられた順に逐次実行され、実行が完了すると実行キューから削除されます。

スケジュールに登録されたジョブは管理コンソールが自動的に実行キューに投入します。他にも、実行キューにジョブを直接投入することが可能です。

実行キュー						
情報取得日時 04/14(火) 11:12      詳細表示 <input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>						
serverA				<input type="button" value="ジョブ投入"/>		
ジョブ名	投入時間	状況	説明	想定終了時刻	取消	
日次ES1ジョブ	2015/04/14(火) 11:12	その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat			<input type="button" value="✕"/>	

項目	説明
ジョブ名	実行キューに投入されたジョブの名前です。
投入時間	実行キューに投入された時間です。
状況	現在、実行中のジョブステップです。
想定終了時刻	ジョブの終了予定時刻です。

アクション	説明				
[詳細表示]	<p>ジョブに登録されているジョブステップを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>投入時間</th><th>ジョブステップ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015/04/14(火) 11:18</td><td> <div> <div>2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat</div> </div> <div> <div>✕ 2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> </div> <div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18~</div> <div>Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div> </td></tr></tbody> </table> <p>実行結果が警告以上のジョブステップは、リンク形式で表示されます。            リンクを押下すると詳細なログ情報を表示します。            → 3.4.1.ジョブステップログ</p>	投入時間	ジョブステップ	2015/04/14(火) 11:18	<div> <div>2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat</div> </div> <div> <div>✕ 2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> </div> <div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18~</div> <div>Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div>
投入時間	ジョブステップ				
2015/04/14(火) 11:18	<div> <div>2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat</div> </div> <div> <div>✕ 2015/04/14(火) 11:18~2015/04/14(火) 11:18</div> <div>その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> </div> <div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18~</div> <div>Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div>				
[ジョブ投入]	<p>実行キューにジョブを投入します。            → 3.3.1.ジョブ投入</p>				
[取消]	<p>未実行のジョブステップの実行をキャンセルします。            実行中のジョブステップは停止されません。            ジョブ自体が実行されていない場合、該当ジョブを実行キューから削除します。</p>				



### 3.3.1. ジョブ投入

実行キューにジョブを投入します。

ジョブ投入

管理サーバ

serverA

説明

想定終了時刻

☐ 指定する

1日後

00

:

00

ジョブ選択

ジョブを選択してください

ジョブ説明

ジョブステップ

OK

キャンセル

項目	説明
管理サーバ	ジョブを実行する管理サーバです。
説明	ジョブの説明文を入力します。
想定終了時刻	ジョブの想定終了時刻を指定します。 想定終了時刻にジョブが終了しなかった場合、「実行履歴」画面で「遅延」と表示されます。
ジョブ選択	実行するジョブを選択します。
ジョブステップ	選択したジョブに含まれるジョブステップです。

アクション	説明
[OK]	実行キューにジョブを投入します。
[キャンセル]	「実行キュー」画面に戻ります。

### 3.4. 実行履歴

管理サーバで実行されたジョブの実行結果、開始日時、終了日時を表示します。

実行履歴					
絞り込み	すべて	詳細表示	ON	OFF	
			10	件表示	« 1 - - - »
管理サーバ	ジョブ/タイマー	ステータス	投入時間	開始日時	終了日時
serverA	週次ES1ジョブ	正常	2015/04/14(火) 11:47	2015/04/14(火) 11:47	2015/04/14(火) 11:47
serverA	日次ES1ジョブ	異常	2015/04/14(火) 11:18	2015/04/14(火) 11:18	2015/04/14(火) 11:19

項目	説明
管理サーバ	ジョブを実行した管理サーバです。
ジョブ/タイマー	実行したジョブとタイマーです。
ステータス	ジョブの実行結果です。 ジョブに含まれるすべてのジョブステップの中で、最も悪い結果を表示します。 ジョブの終了時刻が想定終了時刻を超えた場合、「遅延」と表示されます。
投入時間	実行キューに投入された時間です。
開始日時	ジョブを開始した時間です。
終了日時	ジョブが終了した時間です。

アクション	説明				
[詳細表示]	<p>ジョブに含まれるジョブステップの一覧を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>投入時間</th><th>ジョブステップ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015/04/14(火) 11:18</td><td> <div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\CCStop.bat</div> <div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18～ Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div> </div> </td></tr> </tbody> </table> <p>実行結果が警告以上のジョブステップは、リンク形式で表示されます。 リンクを押下すると詳細なログ情報を表示します。 → 3.4.1 ジョブステップログ</p>	投入時間	ジョブステップ	2015/04/14(火) 11:18	<div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\CCStop.bat</div> <div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18～ Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div> </div>
投入時間	ジョブステップ				
2015/04/14(火) 11:18	<div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\CCStop.bat</div> <div> <div>2015/04/14(火) 11:18～2015/04/14(火) 11:18 その他のプログラム プログラム: C:\NIMCS\BAT\PDBMaintenance.bat</div> <div>▶ 2015/04/14(火) 11:18～ Atheneデータ変換(pdbmagic2)</div> <div>ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名: iimclct.conf</div> </div> </div>				

### 3.4.1. ジョブステップログ

ジョブステップの実行結果を表示します。

#### ジョブステップログ

serverA : 日次ES1ジョブ

▲ 2015/04/14(火) 11:12~2015/04/14(火) 11:12  
Atheneデータ変換(pdbmagic2)

```
PD2,INFO,00000000,2015/04/14,11:12:27,,,START-pdbmagic2
PD2,INFO,00000000,2015/04/14,11:12:27,,,[main][初期化]パラメータの解析に成功しました。[]
PD2,WARN,80010001,2015/04/14,11:12:38,,,[main][DB]データベースの接続に失敗しました。The TCP/IP connection to the host localhost, port 1433 has failed. Error: connect timed out. Please verify the connection properties and check that a SQL Server instance is running on the host and accepting TCP/IP connections at the port, and that no firewall is blocking TCP connections to the port.
PD2,INFO,00000000,2015/04/14,11:12:38,,,END-pdbmagic2
```

閉じる

アクション	説明
[閉じる]	「実行履歴」画面に戻ります。

### 3.5. スケジュール一覧

スケジュールの追加、編集、削除を行います。スケジュールは Windows のタスクに相当する機能で、ジョブの実行タイミングを制御します。定期実行する場合はタイマーを、1 回のみ実行する場合は開始時刻を指定します。

管理コンソールは、登録されたスケジュールに従いジョブを実行します。

スケジュール一覧							
		詳細表示 <input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>		<input type="button" value="追加"/>			
管理サーバ	有効	ジョブ/タイマー	説明	実行日	実行時刻	想定終了時刻	編集
serverA	✓	日次ES1ジョブ/日次		毎月毎日	01:10		<input data-bbox="1230 510 1257 539" type="button" value="..."/>

アクション	説明				
[詳細表示]	ジョブに含まれるジョブステップの一覧を表示します。 <table><tr><th>ジョブ/タイマー</th><th>ジョブステップ</th></tr><tr><td>日次ES1ジョブ/ 日次</td><td>その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\CCStop.bat その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat Atheneデータ変換(pdbmagic2)</td></tr></table>	ジョブ/タイマー	ジョブステップ	日次ES1ジョブ/ 日次	その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\CCStop.bat その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat Atheneデータ変換(pdbmagic2)
ジョブ/タイマー	ジョブステップ				
日次ES1ジョブ/ 日次	その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\CCStop.bat その他のプログラム プログラム: C:\NIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat Atheneデータ変換(pdbmagic2)				
[追加]	スケジュールを追加します。 → 3.5.1 スケジュール追加				
[編集]	スケジュールを編集します。 → 3.5.2 スケジュール編集				

### 3.5.1. スケジュール追加

新規にスケジュールを追加します。

スケジュール追加

管理サーバ

管理サーバを選択してください

説明

有効

有効

無効

実行時間設定

指定方法

タイマー

特定日時

タイマー選択

タイマーを選択してください

タイマー説明

タイマー詳細

ジョブ選択

ジョブを選択してください

ジョブ説明

ジョブステップ

保存

キャンセル

項目	説明
管理サーバ	ジョブを実行する管理サーバを選択します。
説明	スケジュールの説明文を入力します。
有効	無効の場合、ジョブを実行しません。
実行時間設定	・タイマー タイマーの内容でジョブを定期実行します。 ・特定日時 ジョブを 1 回だけ実行します。
タイマー選択	使用するタイマーを選択します。
タイマー説明	選択したタイマーの説明です。
タイマー詳細	選択したタイマーの内容です。
実行日時	「実行時間設定」で「特定日時」を選択すると表示されます。 ジョブの実行予定日時を指定します。
想定終了時刻	「実行時間設定」で「特定日時」を選択すると表示されます。 ジョブの想定終了時刻を指定します。
ジョブ選択	実行するジョブを選択します。
ジョブ説明	選択したジョブの説明です。
ジョブステップ	選択したジョブに含まれるジョブステップです。

アクション	説明
[保存]	入力した内容でスケジュールを登録します。
[キャンセル]	「スケジュール一覧」画面に戻ります。

### 3.5.2. スケジュール編集

登録済みのスケジュールを編集します。

スケジュール編集

管理サーバ

serverA

説明

有効

有効

無効

実行時間設定

指定方法

タイマー

特定日時

タイマー選択

日次

タイマー説明

日次処理用タイマー

タイマー詳細

毎月  
毎日  
01:10

ジョブ選択

日次ES1ジョブ

ジョブ説明

日次ES1ジョブ

ジョブステップ

Oracle テーブルスペースデータ変換  
グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:[日次]ミニグラフ,[日次]Windows,[日次]AIX,[日次]HP-UX,[日次]Solaris,[日次]Linux,[日次]VMware(データセンタ),[日次]VMware(ESXホスト),[日次]Oracle,[日次]SQL Server  
評価実行(CS-ADVISOR) 評価条件名:日次評価  
データ検査 - 状態チェック(Flatfile Maintenance)  
データ検査 - 限界値チェック(Flatfile Maintenance)  
PWSアップロード(PWS Uploader)  
その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\IPDBDeleteVBS.bat  
その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\CCStart.bat

削除

保存

キャンセル

項目	説明
	各項目の内容は、3.5.1 スケジュール追加 と同じです。

アクション	説明
[削除]	このスケジュールを削除します。
[保存]	入力した内容でスケジュールを登録します。
[キャンセル]	「スケジュール一覧」画面に戻ります。

### 3.6. タイマー一覧

タイマーの追加、編集、削除を行います。タイマーはジョブの定期実行に使用します。タイマーとジョブを組み合わせでスケジュールに登録すると、タイマーの内容(周期)でジョブが実行されます。

月、日、曜日、時刻での指定をサポートしています。利用用途に合わせてタイマーを作成してください。

タイマー一覧			
タイマー名	周期	説明	編集
日次	毎月 毎日 01:10	日次処理用タイマー	
月次_1日	毎月 1日 03:00	月次処理用タイマー_1日実行用	
週次_日曜日	毎月 日曜日 07:00	週次処理用タイマー_日曜日実行用	

アクション	説明
[追加]	タイマーを追加します。 → 3.6.1 タイマー追加
[編集]	タイマーを編集します。 → 3.6.2 タイマー編集

### 3.6.1. タイマー追加

新規にタイマーを追加します。

タイマー追加

名前

説明

月 

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 全て

日 指定方法 

曜日 日付

日 月 火 水 木 金 土 全て

時間 指定方法 

時刻 選択

:

保存

キャンセル

項目	説明
名前	タイマーの名前を入力します。
説明	タイマーの説明文を入力します。
月	月の指定を行います。 初期値は、全月が選択されています。
日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日 曜日の指定を行います。 初期値は、全曜日が選択されています。</li> <li>・日付 日の指定を行います。 初期値は、全日が選択されています。</li> </ul>
時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻 時刻の指定を行います。 1 日に 1 回実行する場合に使用します。</li> <li>・選択 時刻の指定を行います。 1 日に複数回実行する場合に使用します。</li> </ul>

アクション	説明
[保存]	入力した内容でタイマーを登録します。
[キャンセル]	「タイマー一覧」画面に戻ります。



### 3.6.2. タイマー編集

登録済みのタイマーを編集します。

タイマー編集

名前

説明

月

日

指定方法

時間

指定方法

項目	説明
	各項目の内容は、3.6.1 タイマー追加 と同じです。

アクション	説明
[削除]	このタイマーを削除します。
[保存]	入力した内容でタイマーを登録します。
[キャンセル]	「タイマー一覧」画面に戻ります。

### 3.7. ジョブ

ジョブの追加、編集、削除を行います。ジョブは1つ以上のジョブステップの集合であり、ジョブステップはCSシリーズの各プロダクトの実行を意味します。複数のプロダクトを実行するジョブや、同一プロダクトを複数回実行するジョブを登録することが可能です。ジョブをスケジュールに登録するか、実行キューに投入すると、実際に実行されます。

ジョブ一覧		
詳細表示 <input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>		<input type="button" value="追加"/>
ジョブ名	説明	編集
日次ES1ジョブ	日次ES1ジョブ	<input data-bbox="1236 504 1260 526" type="button" value="..."/>
月次ES1ジョブ	月次ES1ジョブ	<input data-bbox="1236 537 1260 560" type="button" value="..."/>
週次ES1ジョブ	週次ES1ジョブ	<input data-bbox="1236 571 1260 593" type="button" value="..."/>

アクション	説明				
[詳細表示]	<p>ジョブに含まれるジョブステップの一覧を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ジョブ名</th><th>ジョブステップ</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日次ES1ジョブ</td><td>           その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat            その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat            Atheneデータ変換(pdbmagic2)         </td></tr> </tbody> </table>	ジョブ名	ジョブステップ	日次ES1ジョブ	その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat Atheneデータ変換(pdbmagic2)
ジョブ名	ジョブステップ				
日次ES1ジョブ	その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat その他のプログラム プログラム: C:\IIM\CS\BAT\PDBMaintenance.bat Atheneデータ変換(pdbmagic2)				
[追加]	<p>ジョブを追加します。</p> <p>→ 3.7.1 ジョブ追加</p>				
[編集]	<p>ジョブを編集します。</p> <p>→ 3.7.3 ジョブ編集</p>				

### 3.7.1. ジョブ追加

新規にジョブを追加します。

ジョブ追加

名前

説明

他のジョブをコピー

...

管理サーバ

serverA

プログラム

選択してください

追加

ジョブステップ

↑

↓

編集

コピー

削除

保存

キャンセル

項目	説明
名前	ジョブの名前を入力します。
説明	ジョブの説明文を入力します。
管理サーバ	ジョブを実行する管理サーバを選択します。
プログラム	実行するプログラムを選択します。  「追加」ボタンを押下すると、選択したプログラムをジョブステップとして登録します。プログラムによってはパラメータ指定画面が表示されます。 → 3.7.4 ～ 3.7.24
ジョブステップ	このジョブに登録されているジョブステップの一覧です。 上位のジョブステップから順番に実行されます。  「編集」ボタンを押下すると、パラメータ指定画面を表示します。 → 3.7.4 ～ 3.7.24  「コピー」ボタンを押下すると、選択したジョブステップをコピーします。  「削除」ボタンを押下すると、選択したジョブステップを削除します。

アクション	説明
[他のジョブをコピー]	既に登録済みのジョブを表示します。 → 3.7.2 ジョブのコピー
[保存]	入力した内容でジョブを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ一覧」画面に戻ります。

### 3.7.2. ジョブのコピー

登録済みのジョブをコピーします。

ジョブのコピー

ジョブ選択

ジョブを選択してください

ジョブ説明

ジョブステップ

コピー

キャンセル

項目	説明
ジョブ選択	コピーするジョブを選択します。
ジョブ説明	ジョブの説明文です。
ジョブステップ	ジョブに登録されているジョブステップです。

アクション	説明
[コピー]	選択したジョブの名前、説明、ジョブステップを「ジョブ追加」画面に反映します。
[キャンセル]	「ジョブ追加」画面に戻ります。

### 3.7.3. ジョブ編集

登録済みのジョブを編集します。

ジョブ編集

名前

日次ES1ジョブ

説明

日次ES1ジョブ

管理サーバ

serverA

プログラム

選択してください

追加

ジョブステップ

その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\CCStop.bat  
その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\PCBMaintenance.bat  
Atheneデータ変換(pdbmagic2)  
ファイル転送(iimclct) 設定ファイル名:iimclct.conf  
Oracle テーブルスペースデータ変換  
グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:[日次]ミニグラフ,[日次]Windows,[日次]AIX,[日次]HP-UX,[日次]Solaris,[日次]Linux  
評価実行(CS-ADVISOR) 評価条件名:日次評価  
データ検査 - 状態チェック(Flatfile Maintenance)  
データ検査 - 限界値チェック(Flatfile Maintenance)  
PWSアップロード(PWS Uploader)  
その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\PCBDeleteVBS.bat  
その他のプログラム プログラム:C:\IIM\CS\BAT\CCStart.bat

↑  
↓  
編集  
コピー  
削除

削除

保存

キャンセル

項目	説明
	各項目の内容は、3.7.1 ジョブ追加 と同じです。

アクション	説明
[削除]	このジョブを削除します。
[保存]	入力した内容でジョブを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ一覧」画面に戻ります。

32

### 3.7.4. Athene7 データ変換(pdbmagic)のパラメータ指定

pdbmagic の実行パラータを指定します。

ジョブ追加

Athene7データ変換(pdbmagic)のパラメータ指定

開始日

指定しない

終了日

指定しない

システムイメージ

OK

キャンセル

項目	説明
開始日	pdbmagic の「-f」パラメータです。 指定日以降(その日を含む)を対象とします。
終了日	・カレンダーで指定 pdbmagic の「-t」パラメータです。 指定日まで(その日を含む)のデータを変換します。  ・日数入力で指定 pdbmagic の「-t -n」パラメータです。 実行日の n 日前まで(その日を含む)のデータを変換します。
システムイメージ	pdbmagic の「-s」パラメータです。 指定されたシステムイメージのデータを変換します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.5. Athene データ変換(pdbmagic2)のパラメータ指定

pdbmagic2 の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

Atheneデータ変換(pdbmagic2)のパラメータ指定

開始日

指定しない

終了日

指定しない

OK

キャンセル

項目	説明
開始日	pdbmagic2 の「from」パラメータです。 開始日を指定します。
終了日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダーで指定 pdbmagic2 の「to」パラメータです。 終了日を指定します。</li> <li>・日数入力で指定 pdbmagic2 の「-n」パラメータです。 実行日を基点とした相対日で指定します。</li> </ul>

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.6. ファイル転送(iimclct)のパラメータ指定

iimclct の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

ファイル転送(iimclct)のパラメータ指定

設定ファイル

一覧選択

直接指定

選択してください

OK

キャンセル

項目	説明
設定ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>・一覧選択 設定ファイルを一覧から選択します。</li><li>・直接指定 設定ファイル名を直接指定します。 設定ファイルが iimclct と同一ディレクトリに存在しない場合、フルパスで指定します。</li></ul>

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。



### 3.7.7. sftp 転送(iimsft)のパラメータ指定

iimsft の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

sftp転送(iimsft)のパラメータ指定

転送定義名

指定しない

OK

キャンセル

項目	説明
転送定義名	iimsft の「-trans」パラメータです。 転送定義名を指定します。 指定しない場合、すべての転送定義を実行します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.8. パケットモニタデータ変換(wmonpost)のパラメータ指定

wmonpost の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

パケットモニタデータ変換(wmonpost)のパラメータ指定

入力フォルダ

出力フォルダ

インターバル長

15分

インターバル長  
(拡張レコード)

作成しない

RTT Timeout

OK

キャンセル

項目	説明
入力フォルダ	wiremon3 の出力ファイルが格納されているフォルダをフルパスで指定します。
出力フォルダ	CS シリーズのインポート元フォルダをフルパスで指定します。
インターバル長	フラットファイルに変換する際の集約単位を指定します。
インターバル長(拡張レコード)	拡張 TCP セッション情報を作成する際の集約単位を指定します。
RTT Timeout	wmonpost の「-c」パラメータです。 RTT 計測対象パケットのタイムアウト時間を秒単位で指定します。通常、指定する必要はありません。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.9. ユーザーデータ変換(CS-CONNECT)のパラメータ指定

CS-CONNECT の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

ユーザーデータ変換(CS-CONNECT)のパラメータ指定

変換ルール名指定

指定する

指定しない

変換ルール名

☐ 1

☐ 2

OK

キャンセル

項目	説明
変換ルール名指定	変換ルール名を指定します。 指定しない場合、すべての変換ルールを実行します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

## 3.7.10. グラフ作成(CS-MAGIC)のパラメータ指定

CS-MAGIC の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

グラフ作成(CS-MAGIC)のパラメータ指定

クエリーグループ

☐ [日次]AIX  
☐ [日次]HP-UX  
☐ [日次]Linux  
☐ [日次]Oracle  
☐ [日次]Solaris

サイト/システム指定

指定する 指定しない

サイト  
選択してください

システム  
選択してください

選択済み  
サイト/システム

選択解除

対象日指定

指定する 指定しない

yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd

対象時刻指定

指定する 指定しない

00 00 ~ 00 00

出力ファイル名形式

指定しない

出力ファイル種別

指定しない

OK キャンセル

項目	説明
クエリーグループ	CS-MAGIC の「/BATQGP」パラメータです。 実行するクエリーグループを選択します。
サイト／システム指定	CS-MAGIC の「/SITESYS」パラメータです。 実行対象とするサイト／システムを選択します。
対象日指定	CS-MAGIC の「/F」「/T」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。
対象時刻指定	CS-MAGIC の「/FROMTIME」「/TOTIME」パラメータです。 開始時刻、終了時刻を指定します。
出力ファイル名形式	ファイル名の形式を指定します。
出力ファイル種別	CS-MAGIC の「/EXCEL」「/CSV」パラメータです。 出力ファイルの種別を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.11. 報告書作成(CS-REPORT)のパラメータ指定

CS-REPORT の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

報告書作成(CS-REPORT)のパラメータ指定

報告書テンプレート

☐ レポート1  
☐ レポート2

期間指定

指定する

指定しない

yyyy/mm/dd

 ~ 

yyyy/mm/dd

OK

キャンセル

項目	説明
報告書テンプレート	CS-REPORT の「/BAT」パラメータです。 報告書テンプレートを選択します。
期間指定	CS-REPORT の「/F」「/T」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

## 3.7.12. 評価(CS-ADVISOR)のパラメータ指定

CS-ADVISOR の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

評価(CS-ADVISOR)のパラメータ指定

設定名

一括評価 単体評価 複数評価

設定名

☐ 評価1

☐ 評価2

☐ 評価3

☐ 評価4

☐ 評価5

☐ 評価6

☐ 評価7

☐ 評価8

対象日指定

指定する 指定しない

yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd

対象時刻指定

指定する 指定しない

00 00 ~ 00 00

OK キャンセル

項目	説明
設定名	<ul style="list-style-type: none"><li>・設定名 CS-ADVISOR の「/CONF」パラメータです。 実行する評価条件ファイル名を選択します。 複数の評価条件ファイル名を選択可能です。</li><li>・一括評価 CS-ADVISOR の「/BATADF」パラメータです。 Csadflst.txt(日次バッチ)、Csadflst_month.txt(月次バッチ)のいずれかを選択します。</li><li>・単体評価 CS-ADVISOR の「/SITE」「/SYS」「/CONF」パラメータです。 サイト、システム、評価条件ファイル名を選択します。</li><li>・複数評価 CS-ADVISOR の「/INI」パラメータです。 複数システム用の評価条件ファイル名を選択します。</li></ul>
対象日指定	CS-ADVISOR の「/FROMDATE」「/TODATE」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。
対象時刻指定	CS-ADVISOR の「/FROMTIME」「/TOTIME」パラメータです。 開始時刻、終了時刻を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.13. ネットワーク評価(CS-Network ADVISOR)のパラメータ指定

CS-Network ADVISOR の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

ネットワーク評価(CS-Network ADVISOR)のパラメータ指定

設定名

選択してください

OK

キャンセル

項目	説明
設定名	CS-Network ADVISOR の「/NET」パラメータです。 評価条件ファイル名を選択します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.14. 出力ファイル群の管理(CS)のパラメータ指定

CS の出力ファイルの削除パラメータを指定します。

ジョブ追加

出力ファイル群の管理(CS)のパラメータ指定

削除対象

MAGIC/ADVISOR両方

MAGIC

日以前を削除

ADVISOR

日以前を削除

OK

キャンセル

項目	説明
削除対象	削除対象とするプロダクトを選択します。
MAGIC	CS-MAGIC の「/BATFMGMGC」パラメータです。 削除対象日を指定します。
ADVISOR	CS-ADVISOR、CS-Network ADVISOR の「/BATFMGADV」パラメータ です。削除対象日を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。



### 3.7.15. データ検査 - 状態チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

Flatfile Maintenance のデータ検査 - 状態チェックの実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

データ検査 - 状態チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

条件グループ指定

指定する

指定しない

条件グループ

☐ 状態チェック 1

☐ 状態チェック 2

期間指定

指定する

指定しない

yyyy/mm/dd

 ~ 

yyyy/mm/dd

OK

キャンセル

項目	説明
条件グループ指定	Flatfile Maintenance の「/DV "条件グループ名"」パラメータです。 実行する条件グループを選択します。
期間指定	Flatfile Maintenance の「/F」「/T」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.16. データ検査 - 限界値チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

Flatfile Maintenance のデータ検査 - 限界値チェックの実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

データ検査 - 限界値チェック(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

条件グループ指定

指定する

指定しない

条件グループ

☐ 限界値チェック 1

☐ 限界値チェック 2

期間指定

指定しない

▼

yyyy/mm/dd

～

yyyy/mm/dd

OK

キャンセル

項目	説明
条件グループ指定	Flatfile Maintenance の「/DC "条件グループ名"」パラメータです。 実行する条件グループを選択します。
期間指定	<ul style="list-style-type: none"><li>・開始日と終了日を指定 Flatfile Maintenance の「/F」「/T」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。</li><li>・全期間を対象 Flatfile Maintenance の「/NODATE」パラメータです。 全期間を対象とします。</li></ul>

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加/編集」画面に戻ります。

### 3.7.17. データ集約 - 日毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

Flatfile Maintenance のデータ集約 - 日毎集約の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

データ集約 - 日毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

期間指定

指定する

指定しない

yyyy/mm/dd

～

yyyy/mm/dd

サイト/システム指定

指定する

指定しない

サイト

選択してください

システム

選択してください

対象時間帯指定

指定する

指定しない

対象時間帯識別名

☐ 識別名 1

☐ 識別名 2

再集約

指定しない

OK

キャンセル

項目	説明
期間指定	Flatfile Maintenance の「/F」「/T」パラメータです。 開始月、終了月を指定します。
サイト／システム指定	Flatfile Maintenance の「/SITE」「/SYSTEM」パラメータです。 対象とするサイト／システムを選択します。
対象時間帯指定	Flatfile Maintenance の「/SHIFT」パラメータです。 対象時間帯識別名を選択します。
再集約	Flatfile Maintenance の「/RESUM」パラメータです。 既に集約済みの日を対象に再集約を行うか選択します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.18. データ集約 - 月毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

Flatfile Maintenance のデータ集約 - 月毎集約の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

データ集約 - 日毎集約(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

期間指定

指定する

指定しない

yyyymm

~

yyyymm

サイト/システム指定

指定する

指定しない

サイト

選択してください

システム

選択してください

対象時間帯指定

指定する

指定しない

対象時間帯識別名

☐ 識別名 1

☐ 識別名 2

再集約

指定しない

OK

キャンセル

項目	説明
期間指定	Flatfile Maintenance の「/F」「/T」パラメータです。 開始月、終了月を指定します。
サイト／システム指定	Flatfile Maintenance の「/SITE」「/SYS」パラメータです。 対象とするサイト／システムを選択します。
対象時間帯指定	Flatfile Maintenance の「/SHIFT」パラメータです。 対象時間帯識別名を選択します。
再集約	Flatfile Maintenance の「/RESUM」パラメータです。 既に集約済みの月を対象に再集約を行うか選択します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.19. データ管理 – バックアップ(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

Flatfile Maintenance のデータ管理 - バックアップの実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

データ管理 バックアップ(Flatfile Maintenance)のパラメータ指定

プラン名

選択してください

期間

指定しない

OK

キャンセル

項目	説明
プラン名	実行するバックアッププランを選択します。
期間	<ul style="list-style-type: none"><li>対象年月を指定 Flatfile Maintenance の「/M」パラメータです。 対象月を指定します。</li><li>開始日と終了日を指定 Flatfile Maintenance の「/F」「/T」パラメータです。 対象期間を指定します。</li><li>開始日を指定 Flatfile Maintenance の「/F」パラメータです。 開始日を指定します。</li><li>終了日を指定 Flatfile Maintenance の「/T」パラメータです。 開始日を指定します。</li></ul>

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.20. 傾向分析対象データベースへのアップロード(CS-TREND)のパラメータ指定

**: 本機能は V05L20R2 にて廃止しました。**

CS-TREND のアップロードパラメータを指定します。

ジョブ追加

傾向分析対象データベースへのアップロード(CS-TREND)のパラメータ指定

開始日

終了日

項目	説明
開始日	CS-TREND の「/F」パラメータです。 開始日を指定します。
終了日	CS-TREND の「/T」パラメータです。 終了日を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.21. パターン分析(CS-TREND)のパラメータ指定：本機能は V05L20R2 にて廃止しました。

CS-TREND の実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

パターン分析(CS-TREND)のパラメータ指定

シナリオ名

選択してください

期間指定

指定する

指定しない

yyyy/mm/dd

～

yyyy/mm/dd

OK

キャンセル

項目	説明
シナリオ名	CS-TREND の「/name=」パラメータです。 シナリオ名を指定します。
期間指定	CS-TREND の「/F」「/T」パラメータです。 開始日、終了日を指定します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.22. Performance Web Service バックアップ(Performance Web Service Maintenance)の パラメータ指定

Performance Web Service Maintenance のバックアップパラメータを指定します。

ジョブ追加

PWSバックアップ(PWS Maintenance)のパラメータ指定

バックアップコメント  
(省略可)

OK キャンセル

項目	説明
バックアップコメント	Performance Web Service Maintenance の「/comment=」パラメータです。 コメントを入力します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。



### 3.7.23. Performance Web Service データ削除(Performance Web Service Maintenance)の パラメータ指定

Performance Web Service Maintenance のデータ削除パラメータを指定します。

ジョブ追加

PWSデータ削除(PWS Maintenance)のパラメータ指定

削除設定名

選択してください

OK

キャンセル

項目	説明
削除設定名	Performance Web Service Maintenance の「/config=」パラメータです。 削除設定名を選択します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

### 3.7.24. その他のプログラムの実行指定

CS シリーズ以外のプログラムの実行パラメータを指定します。

ジョブ追加

その他のプログラムの実行指定

実行ファイル

名前

サイズ

最終更新日時

C:

D:

E:

Z:

パラメータ

デスクトップ指定

ON

OFF

OK

キャンセル

項目	説明
実行ファイル	実行するプログラムを選択します。 ドライブレターやフォルダをクリックすると階層が移動します。
パラメータ	プログラムの実行パラメータを入力します。
デスクトップ指定	プログラムの実行時、対話型デスクトップの指定を行います。 プログラム内で Office 製品を使用する場合は指定してください。

アクション	説明
[OK]	入力した内容でジョブステップを登録します。
[キャンセル]	「ジョブ追加／編集」画面に戻ります。

**注意！**

この画面から登録したジョブステップは、実際の実行結果に関わらず正常終了扱いとなります。ジョブステップログのステータスは「成功」となり、ジョブステップログには何も表示されません。

### 3.8. ダウンロード

管理サーバに導入されているCSシリーズの設定ファイル、ログファイル、フラットファイルをダウンロードします。他にもイベントログや任意のファイルをダウンロードすることが可能です。

ダウンロード

管理サーバ

管理サーバを選択してください

▼

ファイルタイプ

ファイルタイプを選択してください

▼

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。
ファイルタイプ	<div>ダウンロードするファイルの種類を選択します。</div> <div><div>ファイルタイプを選択してください</div><div>▼</div><div><div>設定ファイル</div><div>ログファイル</div><div>イベントログ</div><div>フラットファイル</div><div>その他のファイル</div></div></div> <div>設定ファイル → 3.8.1 設定ファイル</div> <div>ログファイル → 3.8.2 ログファイル</div> <div>イベントログ → 3.8.3 イベントログ</div> <div>フラットファイル → 3.8.4 フラットファイル</div> <div>その他のファイル → 3.8.5 その他のファイル</div>

### 3.8.1. 設定ファイル

管理サーバに導入されている CS シリーズの設定ファイルを zip 形式に圧縮し、ダウンロードします。  
ダウンロード後のファイル名は「設定ファイル.zip」です。

ダウンロード

管理サーバ

serverA

▼

ファイルタイプ

設定ファイル

▼

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。

アクション	説明
[ダウンロード]	設定ファイルのダウンロードを開始します。

### 3.8.2. ログファイル

管理サーバに導入されている CS シリーズのログファイルを zip 形式に圧縮し、ダウンロードします。  
ダウンロード後のファイル名は「ログファイル.zip」です。

ダウンロード

管理サーバ

serverA

▼

ファイルタイプ

ログファイル

▼

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。

アクション	説明
[ダウンロード]	ログファイルのダウンロードを開始します。

### 3.8.3. イベントログ

管理サーバのイベントログを evt 形式でダウンロードします。

ダウンロード後のファイル名は「アプリケーションイベントログ.evt」、「システムイベントログ.evt」です。

ダウンロード

管理サーバ

serverA

▼

ファイルタイプ

イベントログ

▼

種別

イベントログの種類を選択してください

▼

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。
種別	対象とするイベントログの種別を選択します。

アクション	説明
[ダウンロード]	イベントログのダウンロードを開始します。

### 3.8.4. フラットファイル

管理サーバに導入されている CS シリーズのフラットファイルを zip 形式に圧縮し、ダウンロードします。  
ダウンロード後のファイル名は「フラットファイル.zip」です。

ダウンロード

管理サーバ

serverA

▼

ファイルタイプ

フラットファイル

▼

サイト

サイトを選択してください

▼

システム

システムを選択してください

▼

期間

～

種別

フラットファイルの種類を選択してください

▼

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。
サイト	対象とするサイトを選択します。
システム	対象とするシステムを選択します。
期間	対象とする期間を選択します。
種別	対象とするフラットファイルの種別を選択します。

アクション	説明
[ダウンロード]	フラットファイルのダウンロードを開始します。

### 3.8.5. その他のファイル





管理サーバの任意のファイルをダウンロードします。  
ダウンロード後のファイル名は選択したファイルと同じです。

ダウンロード

管理サーバ serverA

ファイルタイプ その他のファイル

対象ファイル選択

名前	サイズ	最終更新日時
 C:		
 D:		
 E:		
 Z:		

ダウンロード

項目	説明
管理サーバ	対象とする管理サーバを選択します。
対象ファイル選択	対象とするファイルを選択します。 ドライブレターやフォルダをクリックすると階層が移動します。

アクション	説明
[ダウンロード]	ファイルのダウンロードを開始します。



### 3.9. システム状況

管理サーバのリソース、プロセス、サービス、ドライブの情報を表示します。これらの情報は画面遷移時に取得していますので、管理サーバの負荷状況をリアルタイムに把握することが可能です。他にもプロセスの停止や、サービスの状態を変更することが可能です。

システム状況

serverA

システム情報

情報取得日時	CPU使用率(%)	空きメモリ量(MB)	総メモリ量(MB)
2015/04/14(火) 17:26	35.00	2,507	8,066

プロセス情報













詳細表示 ☐ ON ☒ OFF

サービス情報

サービス	状態	操作
lim clock server	■	  
PWSTomcat	▶	  

ドライブ情報

ドライブ	総容量(GB)	使用量(GB)	空き容量(GB)
C:	60.000	57.008	2.992
D:	6.910	5.998	0.913
E:	398.751	261.157	137.594
Z:	16373.048	11249.375	5123.673

アクション	説明								
[開く]	<p>管理サーバのプロセスの一覧を表示します。</p> <table> <tr> <th>プロセス</th><th>操作</th></tr> <tr> <td>pwstomcat.exe</td><td></td></tr> <tr> <td>EXCEL.EXE</td><td></td></tr> <tr> <td>WINWORD.EXE</td><td></td></tr> </table> <p>ES/1 関連のプロセス、Office 関連のプロセスについては「×」ボタンが表示されます。 ボタンを押下するとプロセスを停止します。</p>	プロセス	操作	pwstomcat.exe		EXCEL.EXE		WINWORD.EXE	
プロセス	操作								
pwstomcat.exe									
EXCEL.EXE									
WINWORD.EXE									
操作	<p>サービスの状態を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> サービスを起動します。</li> <li> サービスを停止します。</li> <li> サービスを再起動します。</li> </ul>								

### 3.10. 操作ログ一覧

管理コンソールの操作ログを表示します。出力レベルでの絞り込みや、1 画面での表示件数を変更することが可能です。

操作ログ					
絞り込み		すべて		10	件表示
				1	2 3 4 5
管理サーバ	ステータス	日時	コード	メッセージ	詳細
serverA	正常	2015/04/15(水) 09:45	SVD20001	2340IにDBバックアップをスケジュールします。	...
serverA	正常	2015/04/15(水) 09:45	SVC20001	サービスを開始します。	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 18:24	SVC20002	サービスを停止します。	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:20	XAD20004	フラットファイル(webconsole,システム1,すべて,20130101,20150414)のダウンロードを開始しま...	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:19	XAD20003	イベントログ(serverA/システム)のダウンロードを開始しました。(Administrator/0)	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:19	XAD20003	イベントログ(serverA/アプリケーション)のダウンロードを開始しました。(Administrator/0)	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:17	XAD20002	ログファイル(serverA)のダウンロードを開始しました。(Administrator/0)	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:17	XAD20001	設定ファイル(serverA)のダウンロードを開始しました。(Administrator/0)	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 17:03	XAA20001	アカウント(test)を追加しました。(Administrator/0)	...
serverA	正常	2015/04/14(火) 16:54	SVD20001	2340IにDBバックアップをスケジュールします。	...
				10	件表示
				1	2 3 4 5

アクション	説明
[詳細]	<p>詳細なログメッセージを表示します。</p> <p>→ 3.10.1 操作ログ詳細</p>

### 3.10.1. 操作ログ詳細

管理コンソールの操作ログを表示します。各メッセージの内容については別紙マニュアル「プロダクト・エラー・メッセージ」を参照してください。

操作ログ詳細

serverA

2015/04/14(火) 17:20

XAD20004

フラットファイル(webconsole,システム1,すべて,20130101,20150414)のダウンロードを開始しました。(Administrator/0)

閉じる

アクション	説明
[閉じる]	「操作ログ一覧」画面に戻ります。

### 3.11. 管理コンソール設定

管理コンソールの動作設定を行います。

管理コンソール設定

操作ログ

イベントログ

ジョブ実行

保持期限(日)

365

更新

アクション	説明
タブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作ログ → 3.11.1 操作ログ</li> <li>・イベントログ → 3.11.2 イベントログ</li> <li>・ジョブ実行 → 3.11.3 ジョブ実行</li> </ul>
[更新]	入力した内容で設定を更新します。 未表示タブの内容も同時に反映されます。

### 3.11.1. 操作ログ

管理コンソールの操作ログに関する設定を行います。

管理コンソール設定

操作ログ

イベントログ

ジョブ実行

保持期限(日)

更新

項目	説明
保持期限(日)	操作ログの保持日数を指定します。 指定日数を超過した操作ログは自動的に削除されます。

アクション	説明
[更新]	入力した内容で設定を更新します。 未表示タブの内容も同時に反映されます。

### 3.11.2. イベントログ

ジョブの実行ログをイベントログに出力します。イベントログ監視ツールなどを利用して、ジョブの実行状況を把握することが可能です。

管理コンソール設定

操作ログ

イベントログ

ジョブ実行

出力レベル

警告以上

出力単位

ジョブ単位

更新

項目	説明
出力レベル	ジョブの実行結果が選択したレベル以上の場合、イベントログにジョブログを出力します。
出力単位	ジョブログの出力単位を選択します。

アクション	説明
[更新]	入力した内容で設定を更新します。 未表示タブの内容も同時に反映されます。

### 3.11.3. ジョブ実行

ジョブの実行方法を管理サーバ毎に指定します。

管理コンソール設定

[操作ログ](#)
[イベントログ](#)
[ジョブ実行](#)

設定一覧

管理サーバ	実行方法	ユーザ名	編集
serverA	直接実行		

更新

アクション	説明
[編集]	実行方法を変更します。 → 3.11.4 ジョブ実行 編集
[更新]	入力した内容で設定を更新します。 未表示タブの内容も同時に反映されます。

### 3.11.4. ジョブ実行 編集

管理コンソールのジョブ実行方法を設定します。

#### ジョブ実行 編集

実行方法	<input type="button" value="タスクスケジューラ"/> <input checked="" type="button" value="直接実行"/>
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(確認)	<input type="password"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

項目	説明
実行方法	ジョブの実行方法を選択します。  ・直接実行 管理コンソールの Base サービスから直接ジョブを実行します。  ・タスク スケジューラ Windows のタスク スケジューラからジョブを実行します。
ユーザ名	タスク実行時に使用する Windows ユーザ名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワード(確認)	確認のため、パスワードを再度入力します。

アクション	説明
[OK]	入力した内容を「ジョブ実行」画面に反映します。 設定の更新は行われません。「ジョブ実行」画面に「更新」ボタンを押下してください。
[キャンセル]	「ジョブ実行」画面に戻ります。



### 3.12. アカウント管理

管理コンソールで使用するアカウントの追加、編集、削除を行います。管理コンソールでは、操作ログにアカウント情報を出力しますので、各アカウントがどのような操作を行ったかを把握することが可能です。

アカウント一覧			
			追加
アカウント名	説明	ステータス	編集
Administrator	管理者	有効	...
test		有効	...

アクション	説明
[追加]	アカウントを追加します。 → 3.12.1 アカウント追加
[編集]	アカウントを編集します。 → 3.12.2 アカウント編集

### 3.12.1. アカウント追加

新規にアカウントを追加します。

アカウント追加

アカウント名

パスワード

パスワード(確認)

説明

アカウント設定

有効

無効

保存

キャンセル

項目	説明
アカウント名	管理コンソールで使用するアカウント名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワード（確認）	確認のため、パスワードを再度入力します。
説明	説明文を入力します。
アカウント設定	「無効」を選択した場合、このアカウントは管理コンソールにログインできません。

アクション	説明
[保存]	入力した内容でアカウントを追加します。
[キャンセル]	「アカウント一覧」画面に戻ります。

### 3.12.2. アカウント編集

登録済みのアカウントを編集します。

アカウント編集

アカウント名

Administrator

パスワード

.....

パスワード(確認)

.....

説明

管理者

アカウント設定

有効

無効

保存

キャンセル

項目	説明
	各項目の内容は、3.12.1 アカウント追加 と同じです。

アクション	説明
[削除]	このアカウントを削除します。 Administrator とログイン中のアカウントは削除できません。
[保存]	入力した内容でアカウントを登録します。
[キャンセル]	「アカウント一覧」画面に戻ります。

### 3.13. 設定ファイルの出力

管理コンソールに登録したタイマー、ジョブ、スケジュールなどの設定情報や、ログ情報をダウンロードします。

設定ファイルの出力

タスク情報  
(タイマー、ジョブ、  
スケジュール)

出力する

出力しない

ログ情報

出力する

出力しない

2015

▼

年

4

▼

月以降

アカウント情報

出力する

出力しない

環境情報

出力する

出力しない

管理マシンのIPアドレス  
アカウントのパスワード

出力する

出力しない

出力

項目	説明
タスク情報(タイマー、ジョブ、スケジュール)	ジョブ、タイマー、スケジュールを出力します。 この情報は、3.14. 設定ファイルの取込 画面からリストアップすることが可能です。
ログ情報	実行履歴、操作ログの情報を出力します。 ※長期間を指定すると処理時間、データサイズが増加します。基本的に前月までを対象としてください。
アカウント情報	アカウント情報を出力します。
環境情報	ログの保持期限、イベントログ設定の情報を出力します。
管理マシンの IP アドレス アカウントのパスワード	管理コンソールに含まれるセキュリティ情報を暗号化して出力します。

アクション	説明
[出力]	設定ファイルのダウンロードを開始します。

### 3.14. 設定ファイルの取込

3.13. 設定ファイルの出力 でダウンロードしたファイルを使用してタイマー、ジョブ、スケジュールの情報をリストアします。

設定ファイルの取込

タスク情報  
(タイマー、ジョブ、  
スケジュール)

ファイル選択

取り込み

アクション	説明
[ファイル選択]	ブラウザのファイル選択画面が起動します。 3.13. 設定ファイルの出力 でダウンロードしたファイルを指定します。
[取り込み]	タイマー、ジョブ、スケジュールのリストアを開始します。 指定したファイルに含まれるタスク情報と、管理コンソールに登録されているタスク情報が異なる場合、確認メッセージが表示されます。 → 3.14.1. 確認メッセージ

#### メモ！

- ・設定ファイルの取込中はタイマー、ジョブ、スケジュールの編集は行えません。
- ・設定ファイルの取込はジョブのスケジュールが予定されていない時間帯に行ってください。

### 3.14.1. 確認メッセージ

設定ファイルと管理コンソールのタイマー、ジョブ、スケジュール情報に差異がある場合、確認メッセージが表示されます。

#### 確認メッセージ



現在の設定と異なるタスク情報を取り込もうとしています。

操作を続行すると設定ファイル出力時の状態に戻ります。

操作を続行しますか？

はい

いいえ

アクション	説明
[はい]	リストア処理を続行します。
[いいえ]	リストア処理をキャンセルします。

## 第4章 管理コンソール運用例

この章では管理コンソールを運用する際の一例を紹介します。

### 4.1. 運用の方針

ここでは以下のような方針で運用することを想定しています。

- ・15 分おきにフラットファイルを作成する。ただし、バッチ処理中は除く。
- ・定例の日次バッチ処理は夜 01:00 に開始する。
- ・定例の月次バッチ処理は毎月 1 日の日次バッチ処理完了後に開始する。
- ・日次／月次バッチ処理は朝 09:00 までに完了すると想定している。
- ・問題発生時には当日分の問題発生時点までのデータを使用して CS-MAGIC でグラフを作成後、Performance Web Service で閲覧する。

01:00 - 日次バッチ処理開始

↓

xx:xx - 日次バッチ終了後、月次バッチ処理開始

↓

09:00 - フラットファイルの作成

↓

09:15 - "

↓

09:30 - "

↓

09:45 - "

↓

以下、繰り返し。問題発生時はグラフ作成を挿入する。

↓

00:45 - フラットファイルの作成

## 4.2. フラットファイル作成の設定

15 分おきにフラットファイルを作成するために以下の(1)～(3)の手順を行います。

- (1)フラットファイル作成のジョブを登録
- (2)15 分おきのタイマーを登録
- (3)上の(1)と(2)を組み合わせたスケジュールを登録

### フラットファイル作成のジョブを登録

ジョブ追加

名前

フラットファイル作成

説明

他のジョブをコピー

...

管理サーバ

serverA

プログラム

Atheneデータ変換(pdbmagic2)

追加

ジョブステップ

Atheneデータ変換(pdbmagic2)

インポートの実行

↑

↓

編集

コピー

削除

保存

キャンセル

フラットファイルを作成するジョブとして以下の 2 つのジョブステップからなる「フラットファイル作成」というジョブを登録します。

- ・「Athene データ変換(pdbmagic2)」
- ・「インポートの実行」

Athene 以外のデータを変換するジョブステップ、例えば「ユーザーデータ変換(CS-CONNECT)」も行う場合は「インポートの実行」の前に挿入します。



## 15 分おきのタイマーを登録

タイマー追加

名前 15分おき(1時～8時を除く)

説明

月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 全て

日 指定方法 曜日 日付 日 月 火 水 木 金 土 全て

時間 指定方法 時刻 選択 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 全て 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 全て 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59

保存 キャンセル

15 分おき(1 時から 8 時を除く)のタイマーとして上記のような内容のタイマー「15 分おき(1 時～8 時を除く)」を登録します。

## スケジュールを登録

スケジュール追加

管理サーバ serverA

説明

有効 有効 無効

実行時間設定 指定方法 タイマー 特定日時

タイマー選択 15分おき(1時～8時を除く)

タイマー説明

タイマー詳細 毎月 毎曜日 0,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23時 0,15,30,45分

ジョブ選択 フラットファイル作成

ジョブ説明

ジョブステップ Atheneデータ変換(pdbmagic2) インポートの実行

保存 キャンセル

作成したタイマー「15 分おき(1 時～8 時を除く)」とジョブ「フラットファイル作成」をそれぞれ選択したスケジュールを登録します。  
以上でフラットファイル作成のための設定は完了します。

### 4.3. 日次バッチ処理の設定

日次バッチ処理の実行のために以下の(1)～(3)の手順を行います。

- (1)ジョブを登録
- (2)タイマーを登録
- (3)スケジュールを登録

#### ジョブを登録

ジョブ追加

名前

説明

他のジョブをコピー

—

管理サーバ

serverA

プログラム

PWSアップロード(PWS Uploader)

追加

ジョブステップ

グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:[日次]Windows

評価実行(CS-ADVISOR) 評価条件名:日次評価

PWSアップロード(PWS Uploader)

↑

↓

編集

コピー

削除

保存

キャンセル

ここでは例として、日次バッチ処理のために以下の 3 つのジョブステップからなる「日次バッチ」というジョブを登録します。

- ・「グラフ作成(CS-MAGIC)」 日次用のクエリーグループを指定
- ・「評価実行(CS-ADVISOR)」 日次用の評価条件を指定
- ・「PWS アップロード(PWS Uploader)」

他に Flatfile Maintenance の限界値検査等を実行する場合は、「PWS アップロード(PWS Uploader)」の前に挿入します。

## タイマーを登録

タイマー追加

名前

説明

月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 全て

日 指定方法 曜日 日付  
日 月 火 水 木 金 土 全て

時間 指定方法 時刻 選択  
 :

保存 キャンセル

毎日 01 時 00 分に開始するために上記のような内容のタイマー「日次バッチ用(毎日 01:00)」を登録します。

## スケジュールを登録

スケジュール追加

管理サーバ

説明

有効 有効 無効

実行時間設定 指定方法 タイマー 特定日時

タイマー選択

タイマー説明

タイマー詳細

ジョブ選択

ジョブ説明

ジョブステップ

保存 キャンセル

作成したタイマー「日次バッチ用(毎日 01:00)」とジョブ「日次バッチ」をそれぞれ選択したスケジュールを登録します。  
以上で日次バッチ処理のための設定は完了します。

#### 4.4. 月次バッチ処理の設定

月次バッチ処理の実行のために以下の(1)～(3)の手順を行います。

- (1)ジョブを登録
- (2)タイマーを登録
- (3)スケジュールを登録

##### ジョブを登録

ジョブ追加

名前

月次バッチ

説明

他のジョブをコピー

...

管理サーバ

serverA

▼

プログラム

PWSアップロード(PWS Uploader)

▼

追加

ジョブステップ

グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:[月次]Windows

PWSアップロード(PWS Uploader)

↑

↓

編集

エー

削除

保存

キャンセル

ここでは例として、月次バッチ処理のために以下の 2 つのジョブステップからなる「月次バッチ」というジョブを登録します。

- ・「グラフ作成(CS-MAGIC)」 月次用のクエリーグループを指定
- ・「PWS アップロード(PWS Uploader)」

## タイマーを登録

タイマー追加

名前 月次バッチ用(毎日01:01)

説明

月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 全て

日 指定方法 曜日 日付

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月末

時間 指定方法 時刻 選択

01 : 01

保存 キャンセル

毎月 1 日の日次バッチ終了後に開始するために上記のような内容のタイマー「月次バッチ用(01:01)」を登録します。  
時刻に「01:01」を指定することで、先行する日次バッチ処理が終了した直後に開始されるようにします。

## スケジュールを登録

スケジュール追加

管理サーバ 管理サーバを選択してください

説明

有効 有効 無効

実行時間設定 指定方法 タイマー 特定日時

タイマー選択 月次バッチ用(毎日01:01)

タイマー説明

タイマー詳細 毎月 1日 01:01

ジョブ選択 月次バッチ

ジョブ説明

ジョブステップ グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:[月次]Windows PWSアップロード(PWS Uploader)

保存 キャンセル

作成したタイマー「月次バッチ用(毎日 01:01)」とジョブ「月次バッチ」をそれぞれ選択したスケジュールを登録します。  
以上で月次バッチ処理のための設定は完了します。

## 4.5. 問題発生時のグラフ作成の設定

問題発生時にグラフ作成を行う為のジョブを登録します。

ジョブ追加

名前

説明

他のジョブをコピー

管理サーバ

プログラム

ジョブステップ

グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ: 当日用 Windows

PWSアップロード (PWS Uploader)

あらかじめ実行日の当日を処理対象期間としたクエリーグループ「当日用 Windows」を CS-MAGIC で作成しておきます。  
問題発生時に実行するために以下の 2 つのジョブステップを登録したジョブ「当日用 Windows」を登録します。

- ・「グラフ作成(CS-MAGIC)」当日用のクエリーグループを指定
- ・「PWS アップロード(PWS Uploader)」

## 4.6. 問題発生時のグラフ作成の実行

問題発生時にグラフ作成を行うには先に登録した問題発生時に実行するためのジョブを実行キューに投入します。

実行キュー画面で「ジョブ投入」ボタンをクリックし、ジョブ投入画面に移動します。

ジョブ投入

管理サーバ

serverA

説明

想定終了時刻

☐ 指定する

1日後

:

00

:

00

ジョブ選択

当日用Windows

ジョブ説明

ジョブステップ

グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ: 当日用 Windows  
 PWSアップロード(PWS Uploader)

OK

キャンセル

ジョブ投入画面の「ジョブ選択」リストで「当日用 Windows」を選択し「OK」をクリックするとジョブの実行が開始され、実行キュー画面に以下のように表示されます。

実行キュー

ジョブを投入しました。

すべてのサーバ

情報取得日時 04/15(水) 11:57
 詳細表示 ☐ ON ☒ OFF

serverA

ジョブ投入

ジョブ名	投入時間	状況	説明	想定終了時刻	取消
当日用Windows	2015/04/15(水) 11:57	グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ: 当日用 Windows			<input checked="" type="checkbox"/>

ジョブの実行の完了は、この画面を再読込（F5 キー押下）し、実行キューからこのジョブの表示が消えたかどうかで確認します。ジョブの実行が完了したら Performance Web Service にログイン(既に Performance Web Service にログインしている場合は一度ログアウトし、再度ログイン)し、当日のグラフを閲覧することが出来ます。

当日実行用のグラフテンプレートが多くのシステムを対象としており、そのうちの一部のグラフのみ作成を行いたい場合は、以下の手順で対象とするシステムを指定することが出来ます。(対象とするシステムを絞り込むと結果の生成とそれを閲覧するまでの時間を短縮することができます。)

- (1)ジョブ投入画面の「ジョブ選択」リストで「当日用 Windows」を選択後、「ジョブを編集」ボタンをクリックしジョブ編集画面へ移動します。
- (2)ジョブ編集画面でジョブステップ「グラフ作成(CS-MAGIC) クエリーグループ:当日用 Windows」を選択後、「編集」ボタンをクリックし「グラフ作成(CS-MAGIC)のパラメータ指定」ダイアログを開きます。
- (3)ダイアログでサイト設定を「有効」にし、対象のサイト/システムを選択後、「OK」をクリックします。(ジョブ編集画面に戻ります。)

ジョブ編集

グラフ作成(CS-MAGIC)のパラメータ指定

クエリーグループ

- ☐ 当日用 Unix
- ☒ 当日用 Windows
- ☐ 日次 Unix
- ☐ 日次 Windows
- ☐ 日次グラフ作成

サイト/システム指定

指定する 指定しない

サイト

site

システム

system 選択

選択済み  
サイト/システム

site/system 選択解除

対象日指定

指定する 指定しない

yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd

対象時刻指定

指定する 指定しない

00 00 ~ 00 00

出力ファイル名形式

指定しない

出力ファイル種別

指定しない

OK キャンセル

- (4)ジョブ編集画面で「更新」をクリックし、ジョブ投入画面に戻った後、「OK」をクリックします。



#### 4.7. 注意事項

管理コンソールから実行されるジョブはすべて先入れ先出しの形で直列化されます。前記の問題発生時のグラフ作成のような一時的なジョブが定期的なジョブの実行の直前に投入された場合、定期的なジョブの実行は一時的なジョブの完了を待ってから開始されますのでご注意ください。